

富山湾における鯨類の記録（2011年）

著者	南部 久男, 田島 木綿子, 山田 格
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	35
ページ	103-105
発行年	2012-03-10
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=961

短 報

富山湾における鯨類の記録 (2011年)

南部久男¹⁾, 田島木綿子²⁾, 山田格²⁾

¹⁾ 富山市科学博物館

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

²⁾ 国立科学博物館動物研究部

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

**Stranding records of cetaceans in
Toyama Bay, Japan, during the
year 2011.**

¹⁾ Hisao Nambu, ²⁾ Yuko Tajima,
and ²⁾ Tadasu K. Yamada

¹⁾ Toyama Science Museum; 1-8-31 Nishinakano-machi,
Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan, ²⁾ National
Museum of Nature and Science, Department of
Zoology; 4-1-1 Amakubo, Tsukuba-shi, Ibaraki
305-0005

はじめに

富山湾 (富山県側) の鯨類については2001年から漂着
調査等が継続的に行われている (南部, 2009; 南部
ら, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2010, 2011;
関ら, 2005)。本報告では, 2011年に富山湾 (富山県側)
で確認した鯨類及び近年の富山湾の特筆すべき大型鯨類
について報告する。

方法

関係者の情報提供により, 現地調査を行い, 漂着状況,
個体の体長等の計測, 写真撮影の調査を行った。

結果・考察

1. 富山湾で確認された鯨類

2011年 (1~10月) の富山湾での鯨類の確認状況等は
下記の2例2個体であり, 確認地点を図1に示す。

1 例目

ハナゴンドウ *Grampus griseus*

マイルカ科 Delphinidae

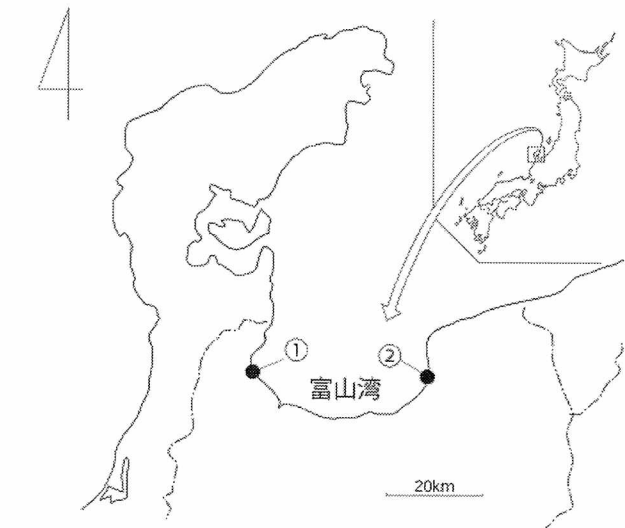


図1 鯨類の確認地点 (①氷見市島尾, ②魚津市北鬼江)

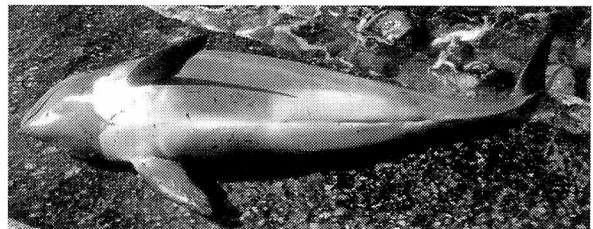
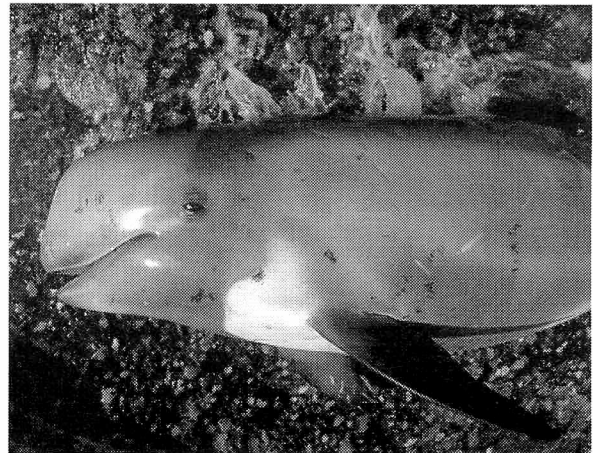
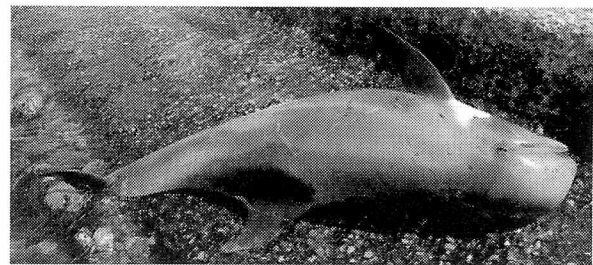


図2 魚津市に漂着したハナゴンドウ
(上, 背面側; 中, 左頭部~胸部; 下, 腹面側)

場所: 魚津市北鬼江の海岸 (図1)

確認日: 2011年3月14日

性別・計測値：オス、体長203cm（現地計測）

状況：2011年3月14日朝に死亡しているイルカ1頭が海岸で通行人により確認された。魚津市水産漁港課職員により確認され、南部により調査が行われた。15日に国立科学博物館へ搬送され、16日に剖検が行われた（田島ら,2011）。

備考：体長は201.7mmで、性的に未成熟な個体である（田島ら,2011）。死亡間もないと思われ、体色が残る新鮮な個体であった（図2）。頭部から胴部の背側は灰色であり（図2上）、白色班が目の後方下部から胸部にかけて広がり（図2中、下）、さらに腹部正中線上につながり、生殖孔や肛門の周辺で広がる（図2下）。

2 例目

カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens*

マイルカ科 Delphinidae

場所：氷見市島尾の海岸（図1）

確認日：2011年6月3日午前中

状況：6月3日富山県高岡土木センター氷見土木事務所職員が海岸パトロール中に発見。6月4日南部調査。漂着ゴミに混じる。

性別・体長：雌雄不明、体長196cm（尾ビレ無し）

備考：かなり腐敗が進行し、上顔骨、下顎骨は剥き出し、胸ビレは先が欠損し、骨が剥き出し、肋骨も一部見える。

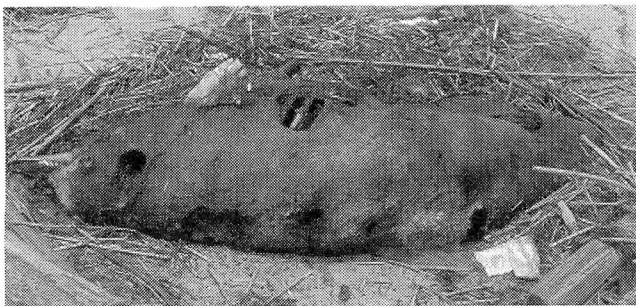


図3 氷見市に漂着したカマイルカ

上述のように、2011年は、1科2種2個体の鯨類が確認されたが、いずれも富山湾では既知種であった。

カマイルカは、富山湾では2000～2010年1～7月に、漂着・目撃が確認され、最も記録の多い種である（南部ら,2009,2010,2011）。

ハナゴンドウは近年の富山湾（富山県側）では、黒部市（2004年6月15日、死体漂着）、氷見市（2006年6月15日、死体漂着;2007年6月17日死体漂着）の3例3個体の記録があり（南部ら,2005,2007; 南部ら2008）、今回の記録を合わせ4例4個体で、カマイルカに次いで漂着記録が多い。

富山湾（富山県側）での漂着は3月と6月であるが、2009年11月22日に七尾市観音崎南東約7.5km（富山湾）で100頭ほどの群れが第九管区海上保安部のヘリコプターで目撃されていることから（日本鯨類研究所,2011）、富山湾へは、不定期に来遊している可能性があり、継続的な調査が必要である。

2. 近年の富山湾の特筆すべき大型鯨類

日本鯨類研究所のストランディングレコード（日本鯨類研究所,2011）の2010～2011年の記録によれば、富山湾（石川県側含む）では記録の少ないナガスクジラとザトウクジラ *Megaptera novaeangliae* が挙がっている。

ナガスクジラは、2011年5月26日に、石川県七尾市鹿渡島沖7.5kmの定置網で体長6mのものが混獲されている。富山湾で、種の同定が確実で、場所が明らかな記録はこれが初めてのものと思われる。富山湾を除く日本海側では、2004年12月26日に石川県輪島市で体長5.7mの個体が漂着し（日本鯨類研究所,2011）、1996年12月26日には山口県長門市で体長6.2mの個体が漂着している（国立科学博物館,2011）。輪島市の個体は、田島、山田らの調査により、大部分の脊椎骨の未骨化、胎便の確認より、新生児である可能性が高いと考察した（田島ら,2012）。ナガスクジラの新生児の体長は6～6.5mと考えられ（Jefferson et.al,1999）、これらの3例は新生児と考えられる。過去に確認された月が12月と1月の冬であるのに対して、今回の2011年の記録は5月であり、今後、本種の回遊時期と出産時期に関するデータを蓄積して考察する必要がある。

ザトウクジラは、2010年5月6日に、富山県氷見市沖定置網で体長9mの個体が混獲されている。2005年1月22日に石川県七尾市白鳥町沖で体長7.9mのザトウクジラが定置網で混獲され（日本鯨類研究所,2011）、1983年12月12日に体長10m以上のザトウクジラが氷見沖の定置網で混獲され（昭和63年12月13日の北日本新聞朝刊）、新聞に掲載された写真を見る限り、かなり大きく、成熟個体と考えられる。

謝辞

情報を提供していただき、調査にご協力して頂きました、富山県高岡土木センター氷見土木事務所、魚津市水産漁港課、魚津漁業協同組合、富山県鮭鱒漁業協同組合、魚津水族館に厚くお礼申し上げます。

参考文献

Jefferson, T.A., S. Leaterwood and M.A. Webber. 1993. FAO species identification guide. Marin

- mammals of the world. Rome,FAO.320p.
(山田格訳.1999.各海の哺乳類FAO種同定ガイド,336pp.NTT出版.東京.)
- 国立科学博物館,2011. 海棲哺乳類ストランディングデータベース (石川創作成, 山田格監修)
<http://svrsh2.kahaku.go.jp/drift/>
- 南部久男,稲村修,田島木綿子,倉持利明,山田格,2002. 富山湾における鯨類 (Cetaceans) の記録 (2001年). 富山市科学文化センター研究報告,25:129-132.
- 南部久男,西岡満,田中豊,太田希生,2003. 富山湾における鯨類・ウミガメ類の記録 (2002年). 富山市科学文化センター研究報告,26:145-147.
- 南部久男,西岡満,関谷伸一, 山田格,太田希生,2004. 富山湾における鯨類の記録 (2003年). 富山市科学文化センター研究報告,27:75-78.
- 南部久男,田島木綿子, 新井上巳, 山田格,田中豊,大田希生,2005. 富山湾における鯨類の記録 (2004年). 富山市科学文化センター研究報告,28:91-94.
- 南部久男,山田格,2006. 富山湾における鯨類の記録 (2005年). 富山市科学文化センター研究報告,29:113-114.
- 南部久男,石川創,山田格,台藏正一,大田希生,2007. 富山湾における鯨類の記録 (2006年). 富山市科学文化センター研究報告,30:63-68.
- 南部久男,石川創,山田格,田島木綿子,谷田部明子,台藏正一,大田希生,2008. 富山湾における鯨類の記録 (2007年). 富山市科学文化センター研究報告,31:99-102.
- 南部久男,2009. 富山湾における鯨類の記録 (2008年). 富山市科学博物館研究報告,32:115-116.
- 南部久男, 真柄真実, 栗原望,山田格,関東雄,台藏正一, 石川雄士. 2010. 富山湾における鯨類の記録 (2009年). 富山市科学博物館研究報告,33:105-108.
- 南部久男,関東雄,真柄真実,山田格,太田希生,藤田将人,2011. 富山湾における鯨類の記録(2010年). 富山市科学博物館研究報告,34:141-144.
- 日本鯨類研究所,2011. ストランディングレコード.
<http://www.icrwhale.org/stranding0106.html>
- 関東雄,南部久男,山田格,石川創,2005. 富山湾の海上における鯨類の目撃記録. 富山市科学文化センター研究報告,28:113-122.
- 田島木綿子,山田格,角田恒雄,新井上巳,梅谷綾子,小松由章,東出幸真,南部久男, 2011. 石川県輪島市に漂着したナガスクジラ *Balaenoptera physalus*. 富山市科学博物館研究報告,35:113-115.
- 田島木綿子,山田格,南部久男, 2011. 富山県魚津市に漂着したハナゴンドウ (*Grampus griseus*). 富山市科学博物館研究報告,35:111-113.